

ゆかりんの県政報告

vol.10



さあいさつ

秋冷の季節を迎えました。夏の総選挙を経て政権交代時代に突入したのですが、民主党新政権も大胆な方向転換をいかに安定的に軌道に載せるのか、制度設計や財源措置について模索が続いています。地域の経済状況も有効求人倍率は過去最低のままにあり、予断をゆるしません。

そんな中、わが諏訪市においては八月八日過去最大時雨量の局地的集中豪雨に見舞われ、湖南地区を中心に災害となりました。被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。今議会ではこの災害に集中して一般質問に立つとともに、諏訪市副市長筆頭の陳情団を案内し、知事、建設部長への要望活動を行いました。後段の災害対策予算が可決され、国の交付金の決定を待つ状況です。

これから寒さに向かいますが、日頃のご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、新型インフルエンザへの備えを十分にされ、皆様のご健勝にてご活躍されますようお願い申し上げます。

長野県議会

創志会諏訪支部

長野県議会議員

金子ゆかり

長野県議会《9月定例会》報告

●天皇陛下在位20年賀詞を決議

「賀詞：天皇陛下におかれましては本年ご即位二十年をお迎えになられ 心からお慶び申し上げます。ここに長野県議会は県民とともに謹んで慶祝の意を表します」

●長野県の補正予算、一般会計388億1901万6千円、特別会計など3億8828万4千円余を可決。内、長野県新経済対策事業費166億2466万8千円。災害関連18億円他。

◆一般質問に立ちました



□8月8日に諏訪市湖南地区を中心に発生した局地的集中豪雨は最大時雨量118ミリで、これは長野県の過去最大値です。最近増えているこうしたゲリラ豪雨への対応、被災関連河川、砂防、治山の対策、医療体制などにつき県の今後の対応を質問。

■新川上流の未整備区間は、来年度から現地測量を開始し、現在の激特事業に引き続いて整備着手していくとの答弁を得ました。

■被災した権現沢川、唐沢川、小田井沢川、細沢に6基の砂防堰堤(10億円)、林務部関係の治山堰堤や谷止め工など2億9900万円余など対策費が盛り込まれました。

□災害弱者への対応、看護体制の充実などについても質問しました。

宮坂副市長、新川及び、鴨池川武井田川改修期成同盟会の各会長はじめ地区代表15名が知事・建設部長に早期改修を要望しました



知事要望



建設部長要望

その他、新政権への対応、新型インフルエンザ、松本空港の今後、不登校問題、健康対策、温暖化防止策、遊休農地、税収不足など多岐にわたり議論されました。＜補正予算の内容から＞

- ・特別経営安定対策資金を積み増し 5億1326万円余
- ・国の補正予算関連基金積み立て(介護福祉・環境・耐震) 59億7322万円余
- ・緊急雇用創出基金事業費9億8080万円余(内市町村分5億円)
- ・工業技術総合センターの最新鋭高精度の測定・分析装置 7億9千万円余
- ・全高校に教員用パソコン整備
- ・インフルエンザ対策(人工呼吸器など) 9056万円余
- ・県立こども病院の電子カルテシステム整備(4億9010万円余)
- ・高校生死亡事故交差点(諏訪市高島)信号機設置 等



議長要望

◆文教企業委員会に関する議論



長野県の不登校生徒割合(平成20年度)は小学校全国1位、中学校全国5位と深刻な状況にあり、教育委員会の重要課題となりました。

「不登校対策検討委員会」が設置されましたが、教育関係のみならず、社会福祉、衛生医療との連携が必要です。不登校生徒への支援をする民間の学園経営者や学習支援団体関係者との懇談などを通じ、議会としても現状把握と施策立案に取り組んでいます。

◆「長野県議会基本条例」が可決成立しました

平成19年12月以来1年8ヶ月をかけて検討してきた「長野県議会基本条例」は真の地方分権時代において二元代表制の一翼を担うに相応しい議会のあり方を明らかにしています。行政の監視、政策立案、提言、議員間討論、議決機関としての議員の責務や活動原則などに加え、「知事の努力義務」規定は日本でも初めての条文となりました。

◆がん征圧議員連盟

県内10圏域において、所属議員ががん診療連携拠点病院、医師会、看護協会、薬剤師会、行政担当などと意見交換を重ねる活動を行ってきましたが、全県の課題や要望などをとりまとめ、9月28日に知事及び教育長に提言を行いました。

秋に国へ提出する行動計画(アクションプラン)に反映されるよう、また今後の衛生行政に役立てて頂くよう期待します。



国立癌センター東病院視察

◆豪雨災害



八月八日
現場に直行
土石流発生
の情報で深夜現
場に直行し、
現状を確認し
ました。
(小田井沢で)



道路崩落で雨水が滝に…(諏訪箕輪線)



土石流流入の被災家屋(大熊区)

岡谷茅野線を
土石流が止める砂防堰堤が大量の土砂と
流水を捕捉(小田井沢上流)

同じように三年置きに大地震に見舞われ、見事復興した新潟県では9月に「トキめき国体」が開かれました。開会式で全国の支援に感謝をこめた踊り「ありがとうを翼に乗せて」が披露されましたが、諏訪の市民も各地各方面からの応援に応え、一日も早く力強く復活することを願っています。



◆地域振興に資するリニア中央新幹線の整備促進に関する決議

6月議会で議論が始まった長野県の決議に関して、上伊那、松本地区の議会要望に続いて、諏訪地区(6市町村議会)からも前議長の連名によるBルート、諏訪駅設置での議決を求める要望書が知事、および議長宛てに提出されました。

そして、議会最終日に、Bルートを推進してきた経過を尊重し、早期実現をめざす内容の決議が賛成多数で採択されました。



◆衆参両院議長、国機関宛てに意見書を提出

- ・地方における経済対策の着実な推進に関する意見書
- ・公共事業の見直しに関する意見書
- ・新たな過疎対策法の制定を求める意見書
- ・核持込みに関する密約について真相解明等を求める意見書
- ・障害者自立支援法の見直し等を求める意見書
- ・温室効果ガス削減の中期目標に関する意見書
- ・海上自衛隊によるインド洋での補給支援活動の継続を求める意見書
- ・日米F T A交渉に関する意見書
- ・核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書
- ・信州まつもとと空港の定期路線の存続に関する意見書
- ・改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

◆新車フリウスが来ました!



上社で安全祈願

十六年間愛用した車は廃車となり、七月の県政報告会で皆様からご推薦いただき、購入しました。また、長く愛用したと思

◆「創志会と語ろうin諏訪」&「第9回金子ゆかり県政報告会」



三輪澄子
金子議員の知らない面を、仲間議員さん達から伺うことができました。
一層頼もしく感じ、益々期待いたします。藤森

参加しての感想
創志会に所属する、八人の県議会議員の方々のお話を聞く機会に恵まれました。
ユーモアを交えながら、職責に対する熱心な思いを語る姿に、県政を身近に感じることができました。
CO2削減に関して、『森林税』による里山整備、新諏訪警察署の太陽光発電システム設置について、お力添えいただいたという事を知り心打たれました。
完成を待つ、署の「思いやりと温もりの灯り」に、安全安心の日々を送らせて頂く喜びを感じています。
大和二区

